

明倫

題字：横村正直

平成十六年一月二十日発行
明倫自治連合会広報委員会
発行部数2000部

第6号
04.1.20



新年を迎えるに際して

自治連合会会長 伊藤祥男

明けましておめでとうございます。日の経つのは本当に早いもので、私がか長職について二年が過ぎようとしています。もちろん多くの方々のお力に支えられてのことです。本当に有難うございます。

時の流れも早く、各部門も御用事が多く、その処理等に気を使っているかもしれません。よくわかります。でも、明倫には心の暖かい理解者が数多く居られて各部会においても適切に対応しておられます。このような素晴らしい自治会は数多くありません。私達はこの点大いに胸を張って後々のために努力してまいりましょう。

まちなかを歩く日特集

平成十五年十一月十五・十六日、四年目を迎えた「まちなかを歩く日」の明倫イベントを報告します。



京都の中心地にあつて夫々の職につき、お互いの力を出し合っていることを一番大事にしなければなりません。感謝しております。

最近学区内にマンションがたくさん建設され、若い方々も多くなつたように思います。自治連の会へ町内から出席していただき、お力をお借りしたく思います。秋の学区運動会の参加者を見ればよく判ります。将来性のある明倫学区といえましょう。

学童数も少しながら増えているようです。お互いに安全で元気のある明るい良い街にしたいものです。高齢の方々にとっては私達と同様に住みやすい、話し合える、安心のできる街並にしなければ私達の存在する意味がありません。共に話し合う機会と場を持ちましょう。

未来ある明倫を忘れずに！

この一年間の無事に感謝し、今年も同様に無事展開し、一日を大切に過ごせるように希望します。

柳水の茶会

三絃の音が入る中でお茶会



手並みもあざやかな柳水の茶会

今年の「柳水の茶会」は、初日が三条町の大日社中、二日目が西錦小路町の竹中社中のご協力で琴、三味線、胡弓が演奏され、豪華絢爛、バックミュージック付のお茶会になりました。

会場の大広間には、高倉小学校五年生の生徒さんたち全員により、池坊学園の指導で自作の花器に活けこまれた花々が、前日から見事に展示されました。

お茶会は、地域の男性陣が「お運び」を担当、裏方には多数の婦人部、民生委員の皆様などのご協力があり、大勢の方々がお茶会を楽しまれました。

大広間の落ち着いた雰囲気、そこに流れる三絃の音を聴きながらのお茶会は、ゆったりとした時の流れが感じられ、「明倫」ならではの歴史と文化を醸し出していました。



「大日社中」による琴・胡弓演奏(15日)

明倫コンサート

講堂内に拡がるハーモニー

今年の明倫コンサートも二階講堂で開催、十五日の土曜日が地域の方主体のコンサート、十六日の日曜日は織商青年部との共催で「きものジャズコンサート」になりました。

十五日のトップバッター、上野さんのグループは、三十年程前に明倫小学校を卒業、青春時代の思い出に結成したビートルズバンド「PS I Love You」で、一時間半にわたりビートルズメドレーを熱演。

“PS I LOVE YOU”の熱演



明倫婦人部によるコーラスをご披露されました。その頃になると、会場もほぼ満員。最後は講堂内一杯に広がり全員でハーモニーを楽しみました。

続いて京都産業大学グリーククラブの合唱と石原先生の指揮のもと「アンサンブル風」によるコーラス、そして



婦人部コーラスにあわせてみんなで合唱

きものジャズコンサート

入場には和装が条件で、明倫学区にも二十枚の入場券が割り当てられました。残念ながらご利用は余りありませんでした。

開演前には大勢の着物姿の方々で校内は埋め尽くされ、二回公演、計四百名もの参加者を数えました。古き校舎の面影を残す場所での公演は、聞く楽しみだけではなく、その場所の持つ雰囲気を楽しむことができるので、参加者にとっては二重の楽しみだといずれの方々にも好評でした。

室町蚤の市

こだわりの手づくり市



室町通の手づくり市風景

今回の蚤の市は「手づくり」にこだわったものが多く出揃っていました。十六日には手作りの出店者がずらりと揃い、ポストカード、ガラス工芸、石細工、京野菜、人形、木工品、竹細工、のれん、和装小物、etc、etc、いろいろなお店が並んで楽しんで頂

けたようです。出店者募集、スペース依頼、場所割り、受付、後始末など段取りよく進みうまく運営出来たように思っています。ご協力いただいた各商社様、各団体の方々に感謝しています。来年も一段と本格的な蚤の市にできればと思っています。

明倫バザー

あっと間に売りきれ!

まちづくり委員会のイベントにスタッフとして参加させていただいたのは今回が初めて、バザーの担当として値付け作業からお手伝いしました。

値付け作業は、学区の皆様から頂いた物品が多種多様にわたって数も多く、私どもでは値打ちの計り切れないものもあつて苦労し、かなりの重労働となりました。



大忙しの明倫バザー

当日はお天気にも恵まれ多勢のお客様で大盛況でした。バザーは今年が初めての取り組みと言うことで不安もあ

ったのですが、私も驚くほど品物は飛ぶように売れ有り難い限りでした。

只、準備段階で品定めをしたり、取りおきたりする方も居られ不公平感がありました。その他いくつかの点を含め今後の課題だと思います。

少し疲れはしましたが心地よい疲労で楽しい時間を過ごすことが出来、良い勉強をさせて頂きました。

感謝です。

吉川 知子 (百足屋町)

銚子の道プロジェクト

大きな反響を呼んだ

「銚子の道」のパネル展示



非常に関心の高かった「銚子の道」展示

芸術センター大広間の前で展示された、銚子の道プロジェクト展示は、見られた方々の大きな反響を呼びました。立命館大学八木研究室の学生さんら

の協力で畳大の大きさのパネルが十枚以上並べられ、そこに、新町通の北から、「八幡山」、「北観音山」、「南観音山」、「放下銚子」の順で各々南北から見た写真を展示。

それぞれ、巡回出発時における現状の写真と、電柱、電線や看板などを取り去った状態の写真を比べられるようにしてあります。

各山銚子の状態がどのようなものになるのか、また、新町通りがどうなるのか具体的な見られ、参加の方々は興味津々で見入っておられました。

同時に行われたアンケート調査も百五十通余寄せられ、現在立命館大学の八木ゼミにて分析中です。

今年だけのプロジェクトではなく、これからの「新町通」をどのような「通り」にするのがよいのか、私たち地域住民自らがこれを機会に考えていきたいと思っておりますので、皆様方からの忌憚のないご意見をお待ちしています。

ヒトオリ

多数の「風車」が回る運動場

芸術センター運動場で毎回展開されてきた「ヒトオリプロジェクト」は、京都の芸術系大学の学生さんの有志が集まり、「明倫地域」の人々の暮らしと仕事を、アートの世界でインスタレーション(空間を利用した展示)しているものです。

一昨年は室町通りを起点にして、事業所、マンション、町家などを白い布



ヒトオリプロジェクトの「風車」

で結びその最終点が、芸術センターの運動場でした。

その学生さんたちの中から、四年度は、尾崎さんを中心にしたグループが「風車」をモチーフに「ヒトオリプロジェクト」を成功させてくれました。

芸術センター入り口から運動場へと続き、運動場一杯に白い風車が回り続けました。また子供たちとも一緒に風車作りのミニ教室も開かれました。

明倫学区はその歴史的由来から、日本の文化の中心としてさまざまな芸術文化を産み育んできました。



骨屋町の野菜市 室町通

明倫小学校の跡、芸術センターと名を変えても、ここから地域の人々と一緒にあって、若い方々の芸術表現が発信されていくことは、とても力強いことだとおもいました。



子供たちの風車作り体験コーナー

お陰様で明倫学区
成十五年度は

平

無火災でした。

今年度も直しくお願ひします。
明倫消防分団



第四回 百足屋町

平安末期の天治二年(一一二五)、現在の百足屋町一带を中心に、三条、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百の間に合計四回の火災にこの地域は見舞われ、庶民小屋が焼けた。つまり百足屋町に庶民が住み始めたのは、少なくともこの頃まで遡れるわけである。

町内探訪

平安後期、新町通は町通りと呼ばれ、商業が発達しはじめ、都のメインストリートだったのである。それから今日に至るまで、入れ代わり立ち代り町人(マチヒト)が住み続けた日本最古の歴史を持つ通りが新町通りであった。室町時代は中心軸はむしろ室町に移ったが、新町通の繁栄も続き豊かな商家が増加した。祇園祭の山鉾もこの経済力を背景に発展したものである。応仁の乱以前に今の百足屋町からも、南観音山のもとである「ふだらく山」が出ていた。百足屋町という名称は、かつて百足屋という大商人が住んだというのが、その起源だといわれている。安土桃山時代には角倉・後藤と



茶屋四郎次郎宅の駒札



もに、京都三長者と称された茶屋四郎次郎が居を構え(Ａ)、江戸初期には幕藩体制確立の功労者林羅山が住んだ(Ｂ)。江戸初期には北観音山とともに、南観音山も曳き山となったが、元禄頃にはまだ屋根はなかった。その後アントのような屋根覆いができる。天明の大火(一七八八)で大被害を受け、観音様の頭と胸の上部を持ち出すことがやっとなった。南観音山の再興は、寛政八年(一七九六)のことである。祇園祭が盛大になり、山鉾が絢爛豪華になるのは、文化文政時代(一八〇四〜三十一)であるが、この時期に南観音山も数々の立派な懸装品を整えている。土蔵の再建は天保二年(一八三一)のことだった。幕末には、元治の大火(一八六四)



伊勢長一元田中源太郎邸



南観音山とボランティア

があり、土蔵は残ったが、多くの被害を受け、文書類も失った。実はそれ以前から南観音山は借財の返還に四苦八苦し、元治の大火後、山を出したのは明治十三年(一八八〇)のことだった。この年に町内会所も再建している。明治時代には、名医新宮涼閣が町内に住み(Ｃ)、その後現在の伊勢長邸に明治・大正に活躍した大実業家田中源太郎が居住した(Ｄ)。南観音山の財政がともかくも安定し始めるのは昭和四十一年(一九六六)に保存会が財団法人となってからである。保存会役員や囃子方のメンバーに女性が参加しているのも南観音山の一つの特色であろう。今年の巡行にも女の子四名が囃子方として参加した。祭の技術者として、懸装品の補修・修復や浴衣の下絵制作にも町内居住者があつた。

木村万平

◆文化協議会よりお知らせ
●新撰組講演会
日時 十六年二月二十四日(火) 午後二時から三時
会場 壬生寺会館ホール
講師 木村幸比古(霊山歴史資料館学芸課長)
●中京区民文化芸術作品展
開催日時 十六年三月八日〜三月十二日
開催場所 中京区総合庁舎、一階区民ホール
募集方法 未発表の作品(絵画、写真、書道、手作り作品等) 年齢問わず
昨年の十二月十五日市民しんぶん区民版に掲載されましたが、一人でも多くの皆様の作品をおまちしています。
詳しいお問い合わせは、百足屋町、小西まで☎二五五―三八〇八

◆お気づけばあく明倫のお知らせ
今年度の日時予定、時間はいずれも十時から十一時三十分
第二火曜日「二月のみ第三火曜日」一／二十、二／十、三／九、
フリースペースとして場所のみ開放
明倫学区主催、自由遊び)
第三火曜日「一月のみ第四火曜日」一／二十七、二／十七、三／十六、
場所 もと明倫幼稚園
対象 就学前の乳幼児と保護者
元明倫幼稚園前の掲示板にお知らせします。ごらんください。
詳しくは、百足屋町、北川まで。

読者のページ

連絡先：長谷川 明（釜座町）

(TEL) 221-3737

(FAX) 221-4406

kaigadou@mbox.kyoto-inet.or.jp

魅力ある町「明倫」

烏帽子屋町 中本久儀

明けましておめでとうございます。早いもので、この町に越して二回目の正月を迎えました。仕事人間としてどちらかと言えば余裕のない日常生活を送っていた私が、先だって母を亡くし、仕事から離れる一時期を得られ、一段落の後ハワイへ十日ほど旅行する機会を持てたことを通じ、日常生活を大切にできた母の生き方を想い、ようやくこの年齢になって日常生活そのものが、豊かな心の支えになるのだと分かったような気がしました。

今の居住地は平安京以来の歴史を持ち、室町幕府という時代名称を名に残す室町通りにあります。当地は政治、文化、商業の中心地として歩み続けてきた町で特に中世以降町衆が繁栄した町として知られています。

特筆すべきは日本随一（私見）の一大行事「祇園祭」を、住人が総力を結集してしっかりと支え・守り、次代へ

と繋いでいく姿は多くの人々に共感と感動を与え、尊敬を受けているところだと思えます。戦争等で中断した年も何度かあったと聞いていますが、私たちの町が誇る、京都・日本の伝統文化の一つとしていつまでも残したいものだと思っています。

私は、当地を深く理解し、協同する住人になりたいと思ひ、できるだけ多く地域の人達との交流・触れ合いが一番とこのたび明倫消防団への入団を申し込みました。これをはじめ多くの活動に参加し、魅力ある町「明倫」を良く知り、心の豊かさの実感を楽しんでいきたいと思っております。これからもよろしくお願ひします。

明倫に住んで

玉蔵町 佐藤家（家族構成
夫婦と長男の三大家族）

夫・和男

私の仕事の都合で上京区から現在の中京区玉蔵町に移住する事になりました。四年前の事です。前の地は、御所と鴨川には生まれ、静かな住宅地でしたから、休みの日などは周辺を良く散歩していました。

引越しを決めた当時、商業の中心地を選択するにはそれなりの事情がありました。それまでは会社勤めをしておりましたが独立、自営を決心したからなのです。

その歴史のある商業の中心地に、「住まう為の木造の家」を新築する事は、土地の経済的有効利用の物差しで

計れば不合理な建物を建築する事になり非常識なのかもしれないとひそかに考えもしました。

いわゆる時代のトレンドに逆らっている行為なのかもしれないと思っていました。しかし家が完成して引越しを終えて落ち着いた頃、私の考えは間違っていないと思えるようになってきました。

この家が新聞、テレビ等で紹介され三日間で千人あまりの方の訪問を頂き来訪された皆様の感想文を拝見していると、今までの不安は消し飛びこの家を建ててよかったと思っております。

また、「明倫まちづくり委員会」の活動に末席ながら参加させていただいております。日がたつにつれてご町内の皆様や、明倫学区の皆様とのふれあいに、先人達の情を受け継ぎ長い時間と共に培われた人情、心意気等の奥深い空気を感じ、日々感謝しています。

妻・弘美

中京区で生まれ、青春時代から三十年あまりを上京区で過ごし、また中京の中心である明倫学区に移り住んで早や四年が経ちました数々の歴史ある街中で、「祇園祭」、「まちなかを歩く日」等のイベントを通じて楽しく暮らせております。

長男・智則（大学生）

私はこの町に引越して来て本当に良かったと感じている。その一番の要因はなんと言っても「祇園祭」だ。その時期になると家族や友人といろいろな計画を立て、家の前では声を張り上

げて飲み物や小物を売り、家中の1階では母親とその友人がステンドグラス展を開き、その後、売れ残ったビールでみんなと賑やかに騒ぐのが楽しい。

インタビュー

フォークダンス部



区民運動会でのダンスの演技発表

平成九年より始まった倶楽部で、毎月第二・第四月曜日の夜、七時半から九時まで、芸術センター・フリースペースや明倫幼稚園遊戯室で開かれています。幹事の加瀬さんいろいろなとお聞きしました。

Q：現在何人居られますか

A：三十代から七十代まで三十七名の女性部員が毎回楽しく踊っています。

Q：先生はどなたですか

A：長岡京市在住の加藤良子先生で、



ゲートボール部の皆さん

ゲートボール部

お問い合せは
加瀬(金座町) Tel. 三三二一〇六八二まで

Q: 一年間の行事としては
A: 四月から始まり、十月の運動会への参加、十二月のXmasパーティーと三月の雑祭り食事がありません。踊りも食事会も大変楽しく、休む人が無いくらい楽しい倶楽部です。新入会員大歓迎です。

Q: 曲や踊りの振り付けはどうしていますか
A: 一年で二十数曲踊りますが、先生が毎月四、五曲、世界の踊りを取り入れたものを楽しく踊らせていただいています。美容体操も兼ねて良い運動になり、帰ったらすぐにお風呂に入らないといけません。汗が出ます。

Q: 日本フォークダンス連盟京都支部の副理事長をされている、大変熱心な先生です。
A: 曲や踊りの振り付けはどうしていますか

ゲートボールについては皆さん 若干の知識は持つておられると思います。チームプレーが基本です。プレーに失敗はつきもの、明倫では失敗の責任をくどくど追及せず楽しくプレーする事をモットーにしています。

現在部員は十名、練習は芸術センターのグラウンドで、日曜日は午前中、木曜日はナイターで、夜7時より行っています。

中京ゲートボール連合に加盟し連合主催のリーグ戦や京都市長杯をはじめ各種大会に参加しています。

昨年は三年連続して市老連ずらん杯に中京代表となりました。植田、加藤杯に準優勝今年の中京選手権大会では四位の実績もあります。

屋外でスポーツを楽しむ汗を流す事は健康に良いのは勿論ストレスの解消にもなります。

どしどし参加して楽しんで下さい。初めての方でも用具は準備しています。

担当 五藤(西錦小路町)
Tel. 三三二一五三九一

◆区民運動会

十月十二日(日) 体育振興会主催の区民運動会が開催されました。当日は暑くなく、寒くなく絶好の日和に多数の住民が参加され、大人から子供まで楽しめるプログラムに歓声が沸いていました。

特に綱引き、球入れ、リレーには多くの人が参加し、何組もの勝ち抜き戦を大いに楽しんだ一日でした。



子供の参加で盛り上がるもちつき大会

二月七日(日)に明倫体育振興会主催、交通対策委員会協賛により明倫グラウンドで餅つき大会が開催されました。

総勢二百名あまりが参加され、消防団・婦人会の皆様のご協力のもと、ぜひ

もちつき大会



オイオイ、人数合ってるの? 綱引き

司会役の寺江さんの口切りで始まり、会長の伊藤さんがMERRY, Xmas!と高低をつけて挨拶され、続いて婦交さんが交通安全についての一休さんの紙芝居をしてくださいました。なかなか



ケーキが待ち遠しいXmas Party

高年齢者と子供との仲良しパーティーが十二月七日(日)十一時から自治連遊戯室で始まりました。参加者は大人四十二名、子供十三名と例年賑やかです。

クリスマスパーティー

明倫社会福祉協議会
明倫体育振興会

また、三月にはホーリング大会を予定していますので、皆さんふるって参加してください。

特に子供連れの若い世代が多く参加され、これからの明倫学区の活発な活動が期待できると思います。

か上手で、明るく、時間もすぐに経って昼食時間となり、たいへん美味しい洋食が参加者に振舞われました。

窓側には毛布を二枚敷き、暖かい部屋で小春日のお天気に子供たちは元気よく運動が出来て皆楽しそう、お母さん方も一緒に遊んでお遊びが出来、良い日になりました。折をみて、クリスマス之歌を大きな声で唄いました。

その後、ケーキ、ジュース、大人はコーヒーを手製で湧かし、皆でいただきます。最後には抽選で赤いシクラメンやポインセチアを当てて、お土産にしました。社会福祉員十名の方は朝九時に炊事場に集まり、手順よく進められましたことは感心の極みでした。

当日は芸術センターでも餅つき大会が行われ、沢山の方々が来られ京はお天気に恵まれて大変に良かったです。大成功でした。良いことは何度あつても良いことです。

スケジュール

祭事委員会

輝かしい新年を迎えられ大慶に存じます八坂神社の新年の行事の一部をお届けします。

●二月二日・三日 節分祭

奉納舞踊は先斗町(二日一時)、宮川町(三日今様(三十一時)、祇園甲部(一時)、祇園東(三時)、舞踊にひきつづいて豆撒き、福鬼行事や餅撒きがあります。

特に本年は百万円もする大判がその

場で当たる福豆の授与があり(空クジなし)、明倫の方に当たりませ様に。

節分祭

鬼は鬼でも祇園さんの鬼は、災厄を払ってくれる福鬼です。

二月二日・三日、八坂神社の境内で、福鬼行事が行なわれます

遠い遠い蓬萊の島より、鬼の一族を引き連れて、厄払いにやって来ます。

福鬼に頭をなでてもらうと一年の役がのがれますよ。

餅撒き天を寿ぎ大地を鎮める餅撒きもします。

舞妓さんの舞踊奉納、きれいですよ。賑やかに年男・年女による豆まきもあります。

大判・小判の当たる福豆授与があります。空クジなし。遠方の観光の方に当たりが多いようです。今年は氏子の方々に当たります様に。

中尾 金次郎

芸術センター

●一月三十日 19:00開演 市民

寄席(露の五郎さんが出演します)

●二月十四日 19:00開演 継ぐ

こと伝えること 河村大さん(石井流太鼓方)とミン・ヨンチさん(チャ

ンゴ奏者)出演です。

●二月二十一日 19:00開演 音

楽と市民の広場 山本公正さん(ソプラノサクソ)と片山旭星さん(琵琶奏者) 出演です。

高倉小学校

一月七日(水) 書き初め。
二月四日(水) 授業参観。
二月十日(火) スキー教室。
二月十九日(金) 新一年入学説明会。
三月九日(火) 六年生を送る会。
三月十五日(月) 御池中学卒業式。
三月二十三日(火) 卒業式。
三月二十四日(後期修了式)。
三月二十五日(木) 春期休業
今年が開校十周年を迎えます。そこで、高倉小PTAによる記念式典などで、高倉小PTAによる記念式典など色々企画があり、その一つに平成十六年五月ごろに記念誌が発行されることについて学区の皆様にも原稿依頼がき

ています(すでに町内回覧等でお知らせしています)。

お忙しいところ申し訳ございませんが、御協力いただける方を募集しています。

タイトルは『こんな学校になってほしい。これからの教育への希望等』三十字から五十程度です。

詳しくは、道家(二五六一七五二一)か高倉小学校へメールして下さい。宜しくお願いします。

高倉小学校のメール
takakura-se@edu.city.kyoto.jp

編集後記

- ◆ 芸術の秋、食欲の秋の10月頃から、広報紙「明倫」の編集委員会に参加させて頂きました。明倫学区に引越して来てまだ6年しか経っていませんが「明倫」を通じて、いろいろな事柄を吸収してゆくつもりです。
- ◆ 京都市の中心部でありながら、歩いてまわれるところが多く、便利で歩く範囲で生活のほとんどが賄えるのも魅力の一つです。歴史的史跡も数多く、人情味豊かな明倫学区に住めることのありがたさを感じております。
- ◆ 「まちなかを歩く日」の企画、実行には多くの方々が携わっておられました。内容の優劣は別として、お世話してくださった方々に報いるためにもできるだけ参加して、皆で「明るく楽しい町づくり」を築いてゆきたいものです。
- ◆ 新しく引越して来られた方は、屋内に閉じこもらないで、地域社会の諸行事に積極的に参加され、一言「新しく引越して来た者です。」と謙虚に言えば、在住の皆さんはやさしく迎え入れて下さるのが明倫学区です。
- ◆ 広報誌「明倫」が皆様にとって情報源の必需となり、隅からすみまで愛読して頂けるように努力しますので、ちょっとしたご協力をよろしく願いいたします。

鯉山町 赤井又三郎